

おくたま 町議会だより



156号

平成 23 年 2 月 5 日
発行 奥多摩町議会
電話 (0428)83-2111

議長逝去

澤本 章議長が、1月23日に逝去されました。

澤本議長は平成7年12月、奥多摩町議会議員に当選、以来4期15年にわたり議員としてご活躍され、平成13年から2年間及び生前の1年間、議長の重責を担われてきました。また、関東町村議会議長会理事、東京都町村議会議長会会長等の要職も歴任され、今後もさらにご活躍されることを期待していたところですが、

議員一同、生前のご功績に対し深く感謝申し上げます。誠に慎んでご冥福をお祈りいたします。

第1回臨時町議会

第1回臨時会が、11月29日に開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも賛成多数により原案のとおり可決又は同意されました。

条 例 等

○議案第68号

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○議案第69号

教育委員会教育長の給料等に関する条例の一部を改正する条例

○議案第70号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
(反対・島崎議員)

○議案第71号

自治功労者の決定に同意を求めることについて
奥多摩町表彰条例の規定により、故 奥平春男氏を自治功労者として表彰することに同意しました。

議員提出議案と結果

次の議案が提出され、全員の賛成により原案のとおり可決されました。

条 例

○議員提出議案第6号

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

第4回定例町議会

第4回定例会は、12月7日から12月14日までの、会期8日間にわたり開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全員の賛成により原案のとおり可決されました。

— 条 例 —

○議案第72号

子ども家庭支援センター条例
小丹波地区に児童福祉施設が完成するため、条例が制定されました。

○議案第73号

役場の出張所設置条例の一部を改正する条例

○議案第74号

公告式条例の一部を改正する条例

— 補 正 予 算 —

○議案第75号

一般会計(第2号)

○議案第76号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第2号)

○議案第77号

国民健康保険特別会計(第2号)

○議案第78号

介護保険特別会計(第2号)

○議案第79号

下水道事業特別会計(第2号)

○議案第80号

国民健康保険病院事業会計(第1号)

○議案第81号

児童福祉施設建設工事請負契約の変更について

陳情の取り扱い

趣旨採択としたもの

○陳情第5号

保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情書

一般質問

22年12月議会では、10日の2日目に6名の議員が質問を行いました。(通告順)

竹内和男議員

奥多摩町の経済対策について

.....
(答) 今後配分される予算を有効活用し、町内の活性化に努めていきたい

竹内 国の新成長戦略実現に向けた3段階構えの経済対策について

町長 国は平成22年9月10日に3段階構えの経済対策を閣議決定し、対策中の施策を反映した補正予算を11月26日に国会で成立させた。このうち当町に係する予算としては、普通交付税が2千820億円、特別交付税が180億円増額され、地域活性化交付金3千500億円が新たに創設された。地域活性化交付金は、地域住民のニーズに応じた事業や、地域の取組みを支援する事業の実施を掲げているが、現時点では具体的な内容や、各市町村への配分額等が公表されていない。詳細が確定次第、補正予算を計上し議会にお諮りするとともに、今回の補正予算を有効活用することにより、町内の活性化に努めていきたい。

また、23年度予算における具体的な施策や予算措置については、未だ指示がない状況にあり、国の動向に注視しながら、適切な対応を図っていきたい。

師岡伸公議員

奥多摩病院の医師定着実現に向けて

（答） 医師確保には特に苦慮しているが、現行の派遣制度の継続と充実に努め、医師の増員確保に努力している

師岡 ①自治医大医師等派遣制度の継続と充実について②地域医療支援ドクター制度と奥多摩町について

町長 ①②町固有の医師は堀内院長のみであるが、東京都へき地勤務医師等確保事業により、日本医科大学より整形外科医が、総合医として自治医科大学卒業医師が派遣され、今年度は地域医療支援ドクター事業により内科医が派遣され、現在4名体制を確保している。深刻な医師不足が全国的に続くなか、当町のようなへき地地域では医師確保には特に苦慮しているが、今後

も現状のへき地勤務医師等確保事業や、地域医療支援ドクター事業等による派遣の継続と充実に努め、365日、24時間体制の救急医療を安定して確保するためにも、医師の増員確保について努力しているところである。

「こども110番の家」の取組みについて

（答） PTAが主体となり登録をお願いしているが、教育委員会としても安全教育を充実するとともに、関係機関等と連携し、引き続き児童・生徒の安全対策に取り組んでいく

師岡 「こども110番の家」の取組みの経緯と現状、今後の方向、及びセーフティー教室やPTAとの関わり、啓発活動について問う

教育長 平成17年11月に広島市で、12月には当時の栃木県今市市で起きた少女の連れ去り殺害事件を契機として、当町では

PTAが主体となり学校と連携し、「こども110番の家」の設置について学区内の事業所、家庭へ呼びかけ協力をお願いした。11月末現在で古里地区12世帯、氷川地区76世帯にペナントを配布し、有事の際の避難場所として登録をいただいているが、古里小学校ではPTAと連携し、登録世帯の増加に努めるべく、再度ご協力をお願いを始めたところである。

教育委員会としても、セーフティ教室を実施し安全教育の充実を図るとともに、学校、家庭、警察等の関連機関で連携し、交通安全、声かけ事案等の指導を行っている。今後もこども110番の家の取組みを始めとして、引き続き関係機関と連携し、また地域の方の見守り等のご協力をいただきながら、児童・生徒の安全対策に取り組んでいく。

原島伸行議員

道路環境の整備について

（答） 道路環境の整備は住民生活に与える影響が大きく、交通手段の問題も含め、安心して快適に暮せる環境整備を進めていく

原島 ①安全で快適な環境づくりに配慮した道路改良の推進について②生活道、通学路、林道、ハイキングコースの松枯れ等、安全性を確保した環境整備を③住民が利用しやすいバス交通手段の検討について

町長 ①町内の道路は道路勾配、曲線半径、道路幅員と、それぞれ構造基準にのっとり計画設計されているが、旧基準の道路は幅員も狭く、急カーブで通行上支障のある道路もあり、順次整備計画により改良している状況である。今後も道路拡幅や待避所の設置等により、生活基盤の

向上を図るための道路維持や整備を心がけていく。

②道路や登山道等に影響を与える枯れ木等は、地権者の責任のもとに伐採等を実施していただくのが本来の筋であるが、特に生活道等の住民生活に影響を及ぼす立木や、地権者の経済的負担が大きい場合、また冬季には路面凍結が考えられる日影になる立木についても、地権者の了解をいただき伐採等を実施している。日頃から住民の方が安全に、かつ安心して通行できるように道路の管理を行っている。

③近年観光客のバス利用は増加しているが、住民の利用は人口の減少や高齢化に伴い、逆に減少しているのが実情である。町としては、現在高齢者の通院を送迎する外出支援サービスを行っているが、買い物難民といわれる高齢者の方々の外出等、バス利用とは別の形での外出支援策について、しばらくの時間をいただき、多面的に検討していきたい。

新たな観光戦略の推進、資源の活用について

・・・・
 (答) 入川林道の延長計画は当面ない。西川線林道を活用してのハイキングコース化等、今後の研究課題としたい

原島 入川林道の延長と、布滝までの森林セラピー、ハイキングロードの考えは

町長 入川林道は東京都が管理しているが、延長の計画は当面ないとのことである。しかし、町では西川線林道の開設を現在進めており、今後3か年で1千500メートル、布滝の見える尾根を通過しての計画で事業化している。完成後には現地の状況等を考慮し、ハイキングコースとして整備することは可能であると思われる。森林セラピーロードの認定に際しては、安全性等を含めた基準があり、認定後の維持管理等も総合的に考え、研究していかなければならないと思われる。

増田ひさ子議員

ヒトT細胞白血病ウイルス1型の母子感染を防ぐ対策を！

・・・・
 (答) 抗体検査の実施、費用助成等、都内の他区市町村と足並みをそろえ取り組んでいきたい

増田 ヒトT細胞白血病ウイルス1型は母乳を介して感染する。妊婦の方に情報提供、抗体検査を啓発するとともに、費用の助成や心のケアを行う取り組みを

町長 このウイルスは白血病や脊髄症の原因ウイルスで、感染者は全国で108万人に上り、年間約1千人が発病し命を落しており、根本的な治療法は確立されていない。ご質問のとおり血液検査で感染の有無を知ることができ、母乳制限により母子感染の危険性を下げることができ、国では、ウイルスの総合対策の内容を取りまとめるとともに、産婦人科診療ガイドラインを、

平成23年4月改定に向け準備を進めているとのことである。

国の方針を受け、東京都では「妊婦健康診査項目の見直しに関する検討会」を設置して作業を進めており、この議論を経て、最終的には都と区市町村、東京都医師会で構成する「東京都地域保健事業連絡協議会」において、検査の単価を含め実施が決定となる予定である。町としても、本ウイルスの母子感染に関する情報収集を行うとともに、都全体の妊婦検診の見直しの中で、抗体検査の実施等、他区市町村と足並みをそろえ取り組んでいきたい。町の費用助成についても、この協議会の決定を受け、平成23年度以降に実施していく計画である。

なお、今後の課題としては、国による恒久的な感染予防経費の負担に加え、感染者へのケアやカウンセリング、発症予防、治療法の研究、開発を合わせた総合対策の確立が必要と考えている。

前田悦男議員

景観対策の推進を

（答）既存の景観対策事業をより一層推進したい。国道等の凍結、山頂付近の景観改善は、東京都に要望、協議を行っていく

前田 ①景観対策の現状と今後の対策は②国道等の凍結防止を早急に対応すべき③遊歩道、山頂付近の景観の改善をなおいっそう進めるべき

町長 ①過去には多摩川及び日原川沿いの景観対策事業を、町単独事業として行った経緯はあるが、現在は実施していない。しかし、今後は森林再生事業、花粉症対策事業、松枯れ対策事業、花の里づくり事業等を一層推進し、町の景観の向上を進めていきたい。

木材価格の低迷のため地権者の協力が得られない状況である。今後東京都に対して強く要望していきたい。町道や林道については、地権者の承諾により、町が立木を伐採し対応している状況である。

③遊歩道については、花の里づくり事業をより一層推進したいので、住民皆様のご協力をお願いしたい。山頂付近は、自然公園法により伐採が規制されていることと、伐採後の植栽や育林等の管理を考えると、東京都の直営事業として景観改善を行っていただけるよう、協議を行っていききたい。

島崎利雄議員

国民健康保険税の値上げにストップを

（答）都の補助金確保等の努力や一般会計からの繰入も行ってはいるが、給付とのバランスを考慮し保険料改定を実施している

島崎 ①現在の保険料の算定の仕組みは②加入者数、収納率、繰入金などは③国や都に支援を要求し保険料値上げをストップすべき④国保の広域化の対応と見解は

町長 ①現在は医療分としての国民健康保険分、後期高齢者支援金及び介護保険金を、それぞれ算定方式で積算し、一括で納めていただいている。

②各月1千900人程度で推移しているが、人口の減少に伴い被保険者数も減少している。収納率は20年度において96.61%と、若干低下傾向にはあるものの、東京都や西多摩地域市町村の平均に比べ高い状況となっている。赤字を補填することを目的とした一般会計繰入金は、減少傾向にはあるものの、依然1千万円を超える状況にある。

③東京都町村会を通じて、「国民健康保険事業における東京都財政調整交付金の確保及び都補助金の充実」を毎年要望している。④「国民皆保険を堅持するため、

都道府県を軸とした保険者の再編、統合を推進し、医療保険制度の一本化をはかること」を、全国町村長大会において決議し政府に要望を行っているほか、都町村会等と連携を図り、広域化の要望を行っていく。

テレビのデジタル化にともなう支援について

（答）国の支援策について、国やNHKと協力して、住民皆様に周知徹底していく

島崎 高齢者や一人暮らし、所得の低い方などに具体的な支援策を周知徹底しているか

町長 国はアナログテレビで地上デジタル放送を見ることができ、デジタルチューナーを無償配布することで、生活弱者の方々に支援していくとしている。町としても、この支援策や今後追加される支援策等について、国やNHKと協力して住民皆様に周知徹底していく。

下水道の進行状況は

(答)11月末日で43%の世帯が利用している。町の助成制度の活用を希望される方は、申請をお願いしたい

島崎 利用されている世帯と未加入世帯の状況は。各家庭の接続工事費、改修費等の負担の援助の状況は

町長 下水道への接続可能世帯のうち、この11月末日で221世帯、43%が接続、利用している。未利用世帯は57%である。接続や改修にかかる経費の援助については、水洗便所等改造資金助成規則により資金融資の斡旋、利子補給を行う制度があるが、申請者は現在ない。各家庭での接続、改修工事費は、それぞれの家庭で状況が異なるので、接続にあたっては、工事登録業者の何社かから見積もりをとっていただくようお願いする。

議会 会 日 誌

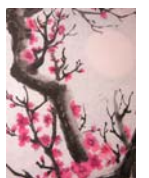
11 月

- 2日 東京都道路整備事業推進大会
- 3日 教育文化活動奨励証授与式
- 4日 三か町村議会広域行政検討部会
- 6日 三か町村お見合い交流会
- 7日 火災予防業務協力者等表彰式
- 8日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会(以下「三水協」)第3委員会
- 9日 表彰審査委員会
- 10日 瑞穂町町制施行七十周年記念式典
- 15日 三か町村議会広域行政検討部会要望活動(東京都西多摩建設事務所)
- 16日 西多摩地区議長会議員研修会・定例会
- 17日 町村議会議長全国大会
- 18日 西多摩地域広域行政圏協議会 体育大会総合開会式兼前夜祭
- 18日 東京都町村議会議長会現地研修会(神津島村)
- 28日 東京都消防操法大会優勝祝賀会
- 29日 第1回臨時会

12 月

- 2日 議会運営委員会
- 6日 身体障害者福祉協会忘年会
- 7日 第4回定例会(第1日)
- 8日 連合審査会・各常任委員会
- 10日 第4回定例会(第2日)
- 11日 こども議会
- 14日 第4回定例会(第3日)
- 17日 奥多摩消防署長歓送迎会
- 4日 役場仕事始め式
- 5日 青梅商工会議所賀詞交歓会
- 6日 町立小・中学校副校長の辞令伝達式
- 6日 青梅警察署武道始式
- 9日 柔道稽古始め式
- 9日 消防団出初式
- 10日 成人の日の式
- 15日 議会だより編集委員会
- 20日 西多摩地区議長会賀詞交歓会
- 21日 古里小学校副校長歓送迎会
- 24日 消防団新年会
- 25日 三水協第3委員会
- 27日 消防関係6団体新年交歓会
- 28日 消防関係6団体新年交歓会

編集後記



昨年は変化の激しい一年でした。また、議会に対してご支援をいただき、誠にありがとうございます。

町では、若者定住応援事業もスタートし、中でも長い間の懸案事項であった水道事業の都営一元化が4月に実現し、町にとり将来負担の軽減が期待されるところです。そして、公共下水道事業の進捗状況も計画を上回る整備状況であり、川井、小丹波地域の一部で供用が開始の状況です。

一方、議会としても議会改革検討委員会を設置し、議会のありかたと将来像について検討を重ねてまいりました。議員定数については、2名の削減が6月の定例会において賛成多数で可決されました。今後よりよい議会、及び議会だよりにしていきたいと思っております。皆様のご意見をお寄せください。

(小澤 春義) 鈴木 賢一
原島 伸行 増田ひさ子
竹内 和男